

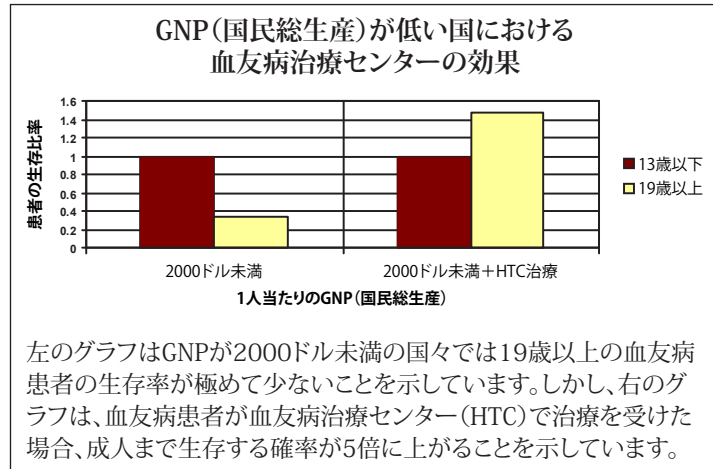


WORLD FEDERATION OF HEMOPHILIA  
FÉDÉRATION MONDIALE DE L'HÉMOFILIE  
FEDERACIÓN MUNDIAL DE HEMOFILIA

## 基本的な血友病治療およびケアの経済的メリット

血友病患者のうち約75%が開発途上国で暮らしています。患者の多くは成人まで成長するのは困難ですが、政府が低コストで特化した対策を実施すれば平均余命は大幅に向上します。子供たちの健康に投資をすれば政府や社会は益を得るのです。それは子供が大人になり、仕事に就き、コミュニティへ貢献し、納税し、健康な家庭を築くからです。

財源が限られた多くの国でも、適切な血友病ケアの組織的機構を提供することは経済的に可能な範囲のものです。



### 政府や社会が受ける恩恵

全くケアを提供しないよりも基本的なケアを提供する方が、長期的には低コストで済みます。WHFの年次国際調査1で収集したデータによると、特定の血友病センター(HTC)で適切な凝固因子補充療法を受けた場合、それが例えば最小限の使用量であったとしても、GNPが2000ドル未満の国々では、以下のような結果が得られています。

- 血友病幼児が成人する生存確率が5倍(500%)に上昇。[グラフ参照]
- 凝固因子補充療法が提供された場合、出血症状からより迅速で、より完全な回復がなされ、その結果として、職場や学校に早く復帰し、血友病患者の機能的自立が維持される。

### 基本的ケアと安全な治療用製剤が患者に提供されない場合の損失

- 患者や介護者の職場欠勤が増え、職場の生産性が減少する。
- 重度の関節障害の頻度が増大し、致命的な頭蓋内・消化管出血により、一層多額の長期的経済支援が必要となる。
- 安全でない血液由来製剤による凝固因子補充療法によりHIV/AIDSやC型肝炎感染の可能性が高まり、その結果、入院日数や投薬が増え、生産性のさらなる損失につながる。

### 基本的な血友病治療とケアの要素

最小の投資で最大の効果を得るためには、政府が以下を提供する必要があります。

- 血友病治療センター(HTC)
- 大出血および手術前に血漿由来製品使用によるオンデマンド療法
- 医療関係者、患者、患者の家族に対して血友病についての教育

詳細情報につきましては、以下の資料をご覧ください。

1. World Federation of Hemophilia. 2004. *Report on the Annual Global Survey 2003*. Montreal: World Federation of Hemophilia.
2. Evatt, BL, and L Robillard. 2000. Establishing haemophilia care in developing countries: using data to overcome the barrier of pessimism. *Haemophilia* 6: 131-134.